

# 茨城県生協連ニュース 臨時号 No.37

## 東日本大震災復興情報 がんばろう！茨城

2011年7月4日 発行:茨城県生活協同組合連合会 水戸市梅香 1-5-5JA会館分館5F 電話 029(226)8487

地震被災発生から、茨城県生協連の各会員生協は、営業の再開と組合員支援、地域支援などに取り組んでいます。その取り組みの一部を紹介します。震災からの復興のために、力を合わせてがんばりましょう。

### <日本ユニセフ協会 東日本大震災緊急・復興支援活動について>

(財)日本ユニセフ協会の全国地域組織代表者・事務局長会議が東京港区高輪のユニセフハウスにおいて、2011年6月16日・17日に行われました。その中で日本ユニセフ協会の復興支援活動について報告されました。その一部をご紹介します。

募金総額見通し 25億円(既支出額 462,961,239円)  
これまでの募金総額は、約23億2,600万円になりました。

<支援内容>

- 1) 緊急救援物資の提供 支出見通し 7,500万円  
ミネラルウォーター、子ども用肌着、靴など
- 2) 教育支援 バックトゥースクール(学校へ戻ろう)キャンペーン  
支出見通し 11億円

2万人を超える子どもたちに文房具などの学用品(1セット当たり約2,000円)  
パソコンやプリンターなど先生方が必要とする器具類や学校再開に必要な机・椅子などを100校を超える小中学校に提供

1.5万人を超える小中学生に体操着や絵の具、習字道具などの学用品(1セット当たり1~2万円相当)の提供を準備中

- 3) 子どもたちの栄養改善支援 支出見通し 6,000万円

日本栄養士会と共同で、ビタミン強化米を使った避難所での食事の提供  
今後 栄養実態調査の実施、保育・幼稚園での捕食、学校給食センターの復旧などの予防に重点を置いた支援を開始

- 4) お母さんと赤ちゃんの保育・栄養支援 支出見通し 2億円

災害対策本部への技術支援や地域の病院や診療所に巡回診療用車両35台を提供  
常時20名を超える医師や看護師が活動中。高度な医療支援を必要とするお母さんや赤ちゃんの紹介制度確立。

- 5) 子どもの心理社会的ケアと保護 支出見通し 1.5億円

全国の皆様から寄贈いただいた絵本や児童書、紙芝居などで作る「ちっちゃん図書館」を提供。  
約600箇所へ約127,000冊を送りました。

気仙沼市では全ての市立小学校と幼稚園に送りました。女川町の「ちゃっこい絵本館」  
に8000冊を送付

「箱の中の幼稚園」や「レクレーションキット」を被災地に配布し、子どもたちが安心できる場所＝「子どもにやさしい空間」を設置

「遊びを通じた心のケア」に関する研修の機会を提供

福島県では、未就学児とその周辺の大人を支援するカウンセリングサポートを県臨床心理士会と共に展開予定

震災により親を失ったり、障害を持っている被災した子供たちへの、包括的な社会的養護の拡充、(例:里親制度の強化、未成年後見人制度の拡充)や子どもたちへの虐待防止などの活動も行っていきます。

日本ユニセフ協会は岩手・宮城に現地事務所を開設し、これらの活動を推進しています。詳細はユニセフのHPにありますので、ご覧ください



<第2回ユニセフ子どもバス遠足>



<全国から届いた絵本を仕分け>



<ちっちゃん図書館のロゴ>

東日本大震災で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

< 「放射性物質とわたしたちの健康と暮らし」講演会を開催しました。 >

2011年6月27日(月)、水戸市笠原の茨城県開発公社ビル3階大会議室において、「放射性物質とわたしたちの健康と暮らし」講演会を開催し、生協組合員を中心に103名の方が参加しました。

今回の学習会は、多くの方が放射性物質による健康への影響についての不安を抱えながら生活しているなかで、放射性物質と健康への影響についての正確な知識のもとで冷静な行動がとれるよう、放射線を専門に研究されている茨城大学の田内広先生をお招きして開いたものです。

放射性物質とは、放射線による健康への影響、日常生活のおくり方などについて学びました。講演後は、会場の参加者からたくさんの質問があり、関心の高さの伺える学習会となりました。



< 茨城県生協連が、日生協からの義援金 6,420 万円を茨城県に贈りました。 >

2011年6月27日(月)、茨城県生協連の佐藤洋一会長理事、古山均専務理事、播田実ひろ子理事が茨城県庁(水戸市笠原町)を訪れ、日本生協連「東北地方太平洋沖地震義援募金」6,420万円を山口やちゑ茨城県副知事にお渡ししました。最初に、佐藤洋一会長理事より、茨城県生協連が会員生協とともにすすめてきたその後の震災対応について報告し、その後、生協の

取り組みや震災復興の現状について懇談しました。

日本生活協同組合連合会では、震災直後から全国の生協によびかけ、義援金への協力をお願いしてきました。今回は、茨城県生協連が日本生協連より託され、茨城県にお贈りしたものです。これまでに18億6千万円が集まり、その中から茨城県に累計8,020万円が贈られました。

山口やちゑ副知事からは「組合員の皆さんからの募金を有効に活用させていただきます、全国の生協の皆様によるしくお伝えください。」との感謝の言葉をいただきました。佐藤会長は「引き続き全力で支援に取り組みたい。」と話しました。



< 左より順に 佐藤洋一会長理事、山口やちゑ副知事、播田実ひろ子理事、古山均専務理事 >



放射能関連学習会「放射能物質とわたしたちの健康と暮らし」(第2弾) 主催 茨城県生協連

日時: 2011年7月15日(金)13:00受付、13:30~15:30

場所: コープつちうら店 2階 コミュニティールーム

〒300-0823 土浦市小松1丁目4-27 電話 029-825-0231

講師: 田内 広 先生(茨城大学教授) 理学部、 広島大理学研究科修士課程修了、放射線生物学、分子生物学

県南地区で開催します。

参加者募集中! : 申込みは県生協連まで